

第1回 学校運営協議会

司会進行：副会長

1 はじめの言葉

2 会長あいさつ

小田切会長：職員も多く替わった。議題も多いのでよろしくお願いします。

3 学校長あいさつ

中村校長：昨年度は様々なご支援ご協力ありがとうございます。おかげで加配をいただき、充実した教育を進めているところです。市への要望活動が実り、支援員の加配があった。ありがとうございます。春日居からかよって2年目であるが、2年目である。地域の方々からの地域の思いや支援やご協力、期待を感じている。ご尽力やご支援ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。新たにCSの指定をいただいた。小山田先生から詳しく話していただけます。4：00-は、職員ご挨拶があります。

・自己紹介は後ほど

4 話し合い（座長：小田切会長）

会長：まず、CS指定の概要を小山田指導監より説明を。

小山田：甲斐市では、創甲斐教育の一環としてCSをおこなっている。9年目で山梨第1号である。3年間、32年度まで甲斐市の指定を新たにいただいた。9年間を通してCSのよい成果ができたこと、地域と学校が親密になったこと。CSコーディネーターも配置になり、実績を上げてきた。今後は、4つ：①持続可能な仕組みをつくる。②地域との連携、③CSコーディネーターと地域のつながり、④CS地域人材の活用等

人的措置についてCSコーディネーターの手当増額措置。配置時間56時間増の予算をもった。

Q 会長：持続可能なCSとは、新たな人材開発をしないと持続できないと思う。市（行政）の方でも取り組んでほしい。

校長：委員名簿の紹介と承認の確認。米山PTA会長、望月P副会長、小野指導主事、堀内元PTA役員（安全指導部）、小宮山教頭。役員交代の説明。

【要綱について】

校長：P3 校内支援についての文言を変更した。P9 7ママの会⇒「ふたすけおはなし隊えがお」に名称変更（女性に限定しないように）。

P10 学校支援地域会議は、年1回、1月に開催。学習支援の実際例の写真を掲載している。

CS コーディネーターの仕事風景。のべ275名が学習支援や支援活動を行っている。

P9～「ママの会」に変わり名称変更。第5条7 司書が中心になって14名の読み聞かせの会「ふたすけおたすけ隊えがお」として男性も含めて取り組めるように変更。

【今年度の基本方針】

校長：資料参照)。これまでの積み重ねをもとにさらに発展させていきたい。学習指導要録が変わる。移行期なので学校の授業に沿った取組ができるとよい。

：昨年度の反省をもとに、PDCA サイクルで学校経営方針をたてた。山梨県の重点目標に沿ったものを追加している。継続していく部分と新たに加わる部分がある。また、地域の発展、互恵関係も高めていく必要がある。

- ・教師が力をつける。チームで力を発揮できるようにする。CSの強みを生かすよう取り組む。重要項目は4点。(使用参照) 世の中の急速な変化に対応できるように「生きる力を育む」教育をしていく必要がある。外国語科の充実。全国学力・学習調査の結果をもとに取り組む。道徳の充実。環境整備ありがとうございます。体力づくりをしている。体力づくりの取組では県の奨励賞をもらった。

- ・今年度は「食育公開」中心になる。

- ・授業改善。学力向上、深い学び、いじめ、不登校などについて重点指導をしていく。いじめについても軽微なものについても迅速に対応する。不登校者はないが、気味の子はいるので対応している。これらの点は、重点的に指導を進めていきたい。

P14 法令遵守

P15 校務分掌

：すべての子どもに力をつける。(特別支援体制)

安全安心：

：スクールコンプライアンス：自覚を持って対応するように指導していく。

中嶋：P17 学校予算

概要：空調設備工事、エアコン入れ替え。

運営委員：1.3万円増額。CS コーディネーターの予算5万円増。

学校全体：維持運営費3万の減額、全体としてやや減額になっている。

日永：経営方針は、昨年度に作成してあるので、基本は変わらないと思う。メンバーも替わ

るので、年度の最後には次年度の計画を立て、前年度中に承認をもらうという形はこれからも継続でよいと思う。

教頭：要綱の中に学習支援部会など8つの部会があって、すでに活動を進めている。

P18 今後の予定 協議会年4回

その他：・のぞみの池改修作業

- ・避難所体験ナイトキャンプ
- ・食育公開研究会
- ・焼酎連携教育推進事業成果発表会 が予定されている。

日永 T：ここで承認したことはすべての基本になるので、新しいメンバーがいるので質問などがあつたらどんどん出したほうがよいと思われる。

米山 P 会長：のぞみの池の改修とは？

CS 山本：のぞみの池改修作業は、環境支援部、おやじの会でおこなう。

米山 P 会長：避難所体験ナイトキャンプが今年は9月だがなぜか？

花田：暑くて屋根に放水したりした。9月の方がよいと思った。

山下：学校の南の田んぼの用水路がすごい勢いで流れていて、大雨の時に心配になる。

航空学園から来る子は、よく挨拶してくれる。地域で大きい声であいさつできるとよい。

堀内：朝の登校見守りについて、以前は、地域の方が山本踏切のところに立ってくださっていたが、最近いない。

CS 山本：新規には2～3名だが、辞退する方も出ているので、減っている。

山下：以前はPTAの方が、当番で旗振りをやっていた事もあるが、これは学期に1回ずつになっている。

CS 山本：Pが登校班ごとに旗振りをしていたりすることがある。

日永 T：PTAの当番と地域の見守りは、部が違うので、組織や役割分担を連携整理していく事が大切。

【職員自己紹介と要望】

P21

1年…生活・体育・図工等、例年の活動をお願いします。食育ではマナー、残さず食べること。

2年…人とつながるということで関わっていただいている。カッターナイフの指導。馬頭琴・山田さん。夏・冬やさいづくり、作物は功刀さん。

3年…総合学習（地区探検・昔のもの・遺産・作物）、体育・算数、総合・社会で地域を探る。図工で支援を。国語で大豆をするので食育へ

- 4年…総合学習（食について命について考える、お年寄りとふれ合う）体育（水泳）多教科に渡ってご支援を。水・石原さん、星・日永 T 食育は、姿を変える米。
- 5年…総合学習（米作り：花田さん・食・フードマイレージ：山田さん、栄養について）社会科と連携して、家庭科（ミシン）・音楽（琴）体育（水泳）食育では米。
- 6年…総合学習（地域との連携、歴史、人権、）双葉の紹介と交流会など、社会科（水墨画、山田さんの講話、生け花等）音楽等

【その他】

日永 T：小1ギャップが否定的に捉えられがちだが、最近では、ある程度あった方が成長のためにはよいということも言われる。むしろ中1ギャップではなく中学ギャップ。いつでもおこる。

次回は、7月25日（木）午前9：00－

以上



第2回 学校運営協議会

司会進行：教頭

1 はじめの言葉 (教頭)

2 会長あいさつ (小田切会長)

会長：暑くなるので大変であるが、夏休みも序盤なので、1年生は初めての夏休みになる。子どもたちや職員の健康を願ってよい夏休みが過ごせるとよいと思う。今日はよりよい教育改革についてよろしくお願いします。

3 学校長あいさつ

本日は、ありがとうございます。夏休みになり、学習会や水泳教室などがあり、子どもたちは毎日学校へ来ているような状況である。今年度の委嘱ですが、委嘱状を机上に置かせて頂いた。昨年度に引き続いて今年度も本校のCSの素晴らしさを再認識した。

エアコンが故障したが、不幸中の幸いにも今年は長雨で熱中症対策については扇風機を導入するなどの対応でなんとか大丈夫だった。

本日の中身について、学校運営協議会の組織について再考していきたい。昨年は、熟議をとおして拡大する方策を模索したが、今回は持続可能な組織についてどうしていったらいいのか広くご意見をいただいて考えていきたい。

日永：CSの勝沼は年間2回、他は、3回ぐらいだが、内一回は児童発表会への参加なので、双西小については、校長の説明のとおり減らしても良いのではないかという結論に達したので理解をお願いしたい。

4 話し合い (座長：小田切会長)

(1) 協議

① 1学期の様子について (校長)

- ・充実した1学期を過ごすことができた。新しい学年になり、学担も代わり、はじめは落ち着かない児童も見られたが、次第に落ちついてきている。
- ・まもなく全国学力・学習調査の結果が出る予定である。国語・算数・である。このほかに今年は、教育糧実施状況調査抽出校として理科と社会があった。結果が出た後で課題を把握し、改善に向けて実践していきたいと考えている。また、県の学力把握調査については今年度から廃止になったのでお伝えするものはない。
- ・小中連携推進で、「山梨スタンダード」を押し進めることを三校の共通理解として課題に挙げて取り組んでいる。

・いじめアンケートを行った結果、昨年はこの時期に10件であったが、今年度は4件挙がっている。「1年生の女儿が隣の女儿にたたかれた」「3年生の女儿が意地悪なことを言われる」「たたかれた」「無視された」などである。これらについては調査し指導を行い、どれも現在解決していて深刻な内容ではないといえるが、引き続き今後も見守りたい。

・長欠については、5年生男子30日欠席が1名、病気で7日間が1名だったが、これは不登校ではない。

・「生きる力」の育成について、主体的に考え、判断し、行動できる子どもを育てる必要がある。情操面・体育面からも取組をしている。

Q 山田：30日以上欠席児童への取組は？

A 校長：担任が、家庭訪問をしている。カウンセリングも行っている。

引き続き対応をお願いしたい。(山田副会長、小田切会長より)

② 学校運営協議会の今後の体制について 資料 p 3 - 4

会 長：今後の体制について校長より説明を。

校 長：たいへん実績を積んできている本校のCSであるが、継続的・安定的・持続可能な体制を整えていきたい。全国をみても同じような課題を抱えている。昨年度も挙げた4つ：①持続可能な仕組みをつくる。②地域との連携、③CSコーディネーターと地域のつながり、④CS地域人材の活用等について今年は、日永先生にアドバイスをいただきながら提案する。

①合理化、有効的な人材活用 ②高齢化、体験・労力サポート ③モチベーションアップ(ボランティア継続には必要) ④職員とのコミュニケーションアップ・働き方改革(良好な環境づくりへの協力)

・具体的には、資料にあるように回数の削減(現4回を3回に)と内容の精選を行うことにした。学校支援会議と学校運営協議会を同日開催にする。

・CSも10年を迎え、運営委員会メンバーの固定化や支援委員会(応援団)のメンバーも重複しているので、共通理解を図りやすい。またCSコーディネーターを設置して頂き、地域への発信や連絡調整がスムーズに行くようになった。職員の働き方改革等も考慮していくため。

(2) 連 絡

① 2学期の行事予定について(教務主任)資料 p 5

② 運動会時バザーについて (教頭) 資料 p 6 - 7

教頭 : 例年どおり行う。24・25日に物品を集め、運動会終了後に行う。

会長 : バザーの物品について負担になっているという声がある。昔は一家庭一物品になっていたが、現在ではその縛りはないと思うので、地域にも広げられないか。中古品で良ければもっと気が楽ではないか。

CS 山本 : 案内に新品というふうには謳っていないが、説明を入れると良いか。

中島 : 新品か未使用でない。以前に廃品物かというような物品を持ち込まれたことがあり、とても販売に値しないような物であった。やはり中古品や古着のような物ではなく新品か未使用が良い。

山本 : しかし、体育着は使用頻度が多く、成長に合わせていくのに買うと馬鹿にならない金額なので古着が欲しいという声があがったときがあった。

望月 : 何年か前に行ったときもある。

会長 : つまり、考え方がいろいろあるので、そのときの声やニーズについてバザーP担当が熟考し、判断して進めて頂けると良いのではないか。

③ 避難所体験ナイトキャンプについて

教頭 : 昨年行ってみて、夏休み中は暑さのため時期をずらした方が良いという反省から、今年度は9月14日(土)・15日(日)に開催をする。子どもに避難所体験をとおして災害時の対応の仕方を学ばせたいという「おやじの会」の願いから企画した。また、地域や保護者にアピールして関心を持ってもらう。職員有志、中学生やOB・OG、保護者にも携わってもらい裾野を広げるための活動にしたい。内容は、ほぼ昨年と同様だが、消防署職員から身近にあるものを使ってけがの応急手当方法の講習も入れた。

花田 : NTTの緑電話の緊急連絡の仕方の講習を去年もやったが、児童がほとんどできなかったもので、今年度もやりたい。

会長 : 募集方法は?

花田 : すでに、1学期のうちに教頭が参加者やボランティアの募集をかけた。現在までのところ、スタッフを含めて50人の参加希望がある。去年は70人だった。2学期はじめにも再募集をかける予定である。

会長 : 大学生のボランティア組織があると思うが、それらには声をかけたか?

花田 : かけてもみたが、やはり地域住民や保護者、OBやOGを生かしたい。

堀内 : OBやOGにはラインで募集が回ってきた。

CS 山本 : OB、OGにはラインで回している。

花田 : 昨年やってみたが、まだまだ手探り状態である。食事にしても、アレルギー対策まで考えて行わなければならない、すべてが試行錯誤である。そして、毎年続けて継続

していくのかもまだはっきりしていない。

会長 : スタッフが足りていないのなら、募集方法を検討実施する必要があるのではないか。

花田 : 「おやじの会」でも全10名中、5名の参加にとどまっている。何年前に甲斐市主催で、同様な内容で双葉体育館において行ったが、そのときは45名の参加にとどまった。あくまでも「おやじの会」主催なので、あまり広げて募集しすぎててもできない。今回はこのくらいの規模で行う。

【学校応援団の1学期の活動報告】

会長 : 先ほど項目をとばしてしまったので報告を。資料 p 1

CS 山本: 活動人数の総数は、のべ319名であった。一番多いのが水泳授業の安全監視で、ほぼ保護者により127名。シャトルラン34名。「おはなし隊」の読み聞かせが30名(毎月第二火曜日)。水泳指導の3名の先生。環境支援部では、草取り、剪定、緑のカーテン設置。農園ではのべ10人。「望みの会」10名(池の漏水修理)。「子育て支援」未就学児保育10名。「おやじの会」プール清掃7名(学校職員除く)。ピッピの会5名。

学習支援では、5年米作り3名。5年玉結び6名。4年水の学習。4年星の学習。5年メダカ学習と提供など。

【登下校安全確保(見守り)について】

山本 : 三つのルートがある。登下校見守り⇒PTAの旗振り3~5日(登校班保護者)。老人クラブ: ジャケットを着ている。甲斐市: 地域の方、腕章を付けている。かつては、PTAも回数が多かったが、現在は学期始めのみ。老人クラブも加齢のため減っている。すべてに於いて減っているので、学校応援団を増やしていきたい。

堀内 : 曜日による活動実態や活動内容はどうか?

山下 : 本当にPTAがやってるんですか? だれもいないのだが。毎日様子を見ていてどうかと思った。

山本 : 学期の始まりの数日だけなので。応援団については、個々の都合でできるときが違うので、お任せになっている。

堀内 : 地域の老人会がやっているが、保護者はやっていない。もっとPTAが関わった方がよい。

米山 P 会長: 学期の始めに二週間やろうと地区委員さんと確認しているが、ノルマや強制力はない。

堀内 : 何かあってからでは取り返しがつかないので、事故・事件の防止等を含めて何かしら関わって欲しい。特に「農の駅」周辺では見守りが必要と感じる。

会長 : 以前一ヶ月ほど朝の登校班についたことがあるが、実態は、班によって違う。実態を把握して対応を考えて行きたい。

5 その他

6 第2回議事録の発表（教務主任）

次回は、12月6日（金）15：00－（多目）

以上

7 終わりのことば（進行）

～会場を家庭科室に移し職員も合流～

8 学校応援団と教職員との熟議について（校長・研究主任）

（熟議：日永先生）



2019/12/6,15:00~ 多目的ホール

第3回 学校運営協議会

司会進行：石原副会長

1 はじめの言葉 (石原) 寒くなったので、早く話し合いを終わらせるようにご協力をお願いします

2 会長あいさつ (小田切会長)

会長：12月のせわしい時期にありがとうございます。今日は内容が濃いので早く終われるようにご協力をお願いします。

3 学校長あいさつ

校長：・本日は、ありがとうございます。現在、エアコン工事を進めているが、設置工事期間が3月末ということになっている。この夏、エアコンが故障しご心配おかけしたが、扇風機を導入するなどの対応をしてきた。ストーブがないエアコンのみの学級（1年・6年、ふたば学級）は、対応し、工事の方もめどがつき一安心している。

- ・インフルが流行ってきているが、今のところ近隣の学校ほどは増えていない。
- ・日ごろから学校応援団の活動とご支援ありがとうございます。
- ・西小まつりは、300名以上がご参観くださり盛況だった。皆様に支えていただいているおかげだと思う。
- ・1月に食育公開、小中連携発表会があるが、よろしくをお願いします。

4 話し合い (議長：小田切会長)

(3) 学校体制 (職員・PTAについて) 校長・教頭 資料p1

(校長)

- ・谷島教諭が産休中。坂本教諭が担任している。昨年のナイトキャンプのOBスタッフとして、今年は1学期に体育代替として3年2組児童に携わってきたので、スムーズにうまく運営ができています。
- ・第2児童館も10名ほどだが問題なくうまく運営ができています。
- ・来年度の全校児童の予定は281名であるが、新入生は毎年予定より少ない人数になるので現状数は維持していけたらよいと考えています。新3年生の保護者で特別支援学級への編入を希望している事案があり、特支学級へ編入すると普通学級が1名減ることになり、このままでは新3年が単級、職員も1名減になってしまいます。
- ・特別支援学級の弱視学級については、卒業のためになくなるので来年度は特別支援学

級1学級減。職員1名減となる。

- ・新1年の特別支援は、(知的1名、情緒2名)が入学予定である。
- ・CSコーディネーターも今年度並みに配置して欲しい。また、県の方にも「きめこまか配置」を要望したいので会長よろしくをお願いします。

PTA役員について (教頭)

- ・11月22日に、5年生の保護者が話し合っ役員を決めた。短時間で決めることができた。4年生以下については、3学期早々に通知配布して2月までに決める予定である。

会長：3年生が減るのが気かりだが、1人減った場合はどうなるか？ なんとか避けたい。

校長：5月1日までに入らないと単級になってしまう。

(2) いじめ・不登校・体罰への対応について (教頭)

教頭：叩く、物や人に当たるという事案があった。その時には、迅速に対応して指導して解決しているが度々再発するので個別懇談でも家庭とも共有した。

- ・不登校1名ある。11月からはほとんど来られなくなった。担任が、定期的に家庭訪問をしたりしている。また、母親がSCと面接を月2回、甲斐市のSCとも相談を進めている。

会長：何年生か？

校長：5年男児である。

- ・体罰はなし。これからいじめアンケートを行う予定である。

(3) 食育公開研究会・小中連携発表会について

1月22日に予定している。CSと結びついているので、関係の方々と計画を進めている。お時間があればぜひご参会いただきたい。

1月24日に小中連携発表会を予定している。日永先生にご講演をお願いしている。

(4) 学校運営協議会の意義と年間の活動について (校長・山本) 資料 p 3-4

学校運営協議会の今後の体制について 資料 p 1

会長：今後の体制について。まずコーディネーターから活動経過報告をお願いします。

CS山本：望みの池の水漏れ修理をお願いして完了した。避難所体験(ナイトキャンプ)開催2回目。星の学習授業。町探検の引率と講義など、例年通り活動している。4月からのべ532名、新しく数名増え、退会も数名。全体としては少し減少している状況である。

校長： 今にして考えると、学校運営協議会で挙げて話し合うべき事案があったと思う。(資料 p 3) A事案について、今年の今頃、保護者から見守りボランティアが旗の棒で頭を小突いた。訴えた方も学校応援団の方でたいへんお怒りだった。経緯を尋ねにいったが、長田教頭がこのご時世なのでご注意いただきたい旨はなした。面会や謝罪は拒んでボランティアをやめられた。慰留を願ったり、今もお願いしたりしているが、辞退したいということだった。貴重な方を失ってしまった点が悔やまれる。

B事案について、エアコンの件で6月から使用していたが、次々と故障し、保護者から市教委へじかに苦情がいった。 (資料 p 3) 学校として暑さ対策はしていたのだが、対応している旨の通知を出すのが遅くなってしまったことなどで学校に不信感を招くこととなってしまったことをお詫びします。学校運営協議会があるのにどうしてかという声もあった。

会長：学校運営協議会があるのにどうしてかという声については、どういうものでしょうか？

日永 T：学校の運営をしているということを知ってもらうことは大切だ。経年で学校運営協議会のしくみについて P T Aの方でもはっきりわからなくなっている家庭もあるのでは。研修や知らせていく手立てを考えた方がよい。事案を反省材料にして、いろいろなお考えを出していただくと共有できると良いと思う。

米山 P 会長： ミシン支援のときに応援団の方の言葉遣いが気になったという声があった。ご年配だし、昔の方はそういう話し方もあると思うが、保護者の方がもっとボランティアに関わるような手立てをしていく必要がある。

花 田： ふるいにかけるようなことをすれば人は集まらなくなる。どうやって集めるかは、当初から難しい面があった。ナイトキャンプの時もアレルギーなど保健や安全防犯上のことなど制約が多い。

山 下： 話を聞いていて、年代の相違があるのかと思う。昔だったら、悪いことをしたら叩かれたりすることは普通にあった。叩かなければならないことだったのか、そんなに叩いたことが悪かったのか。認識が違っている。

石 原： 子どもは地域の宝だといわれる。学校・家庭・地域が一体になって育てようとしているところ、親との相違点が多いと感じる。学校を超えて、いきなり市や県へ飛び越えてしまうという意識もおかしいと思う。三者一体で育てようという意識が薄いので、機会があるごとに文書や会合の中で周知して行くことが良い。

CS 山本： ボランティアが集まらないので、実は、お声をかけてある意味お願いしてきていただいている。そうなるとば誰も集まらない。地域の方は教師ではないので、どこまでを求めるか。このご時世で、体に触れるや、暴言なども許されないとは思いますが難しい。

山下：保護者が、まず問題が起きたときは学校へ伝えるという意識を持ってもらうようにする手立てを考えたい。

CS 山本：応援団やボランティアについては私が窓口になるのがいいかもしれないが、週2回しか出勤していない。メールなどで転送してもらえばできるか。

日永 T：週2回の勤務日に開けるということを明記すればどうか。

CS の定義からして当初は、見守りも地域でという意味合いもあったと思うが、Aのようなこういうトラブルも発生してしまうのでということ最低限のことを周知してもらうようにするとよい。

指導監：個人的に、前任校でのことだったが、手引きを出して立ち回りかたなどをしたが、西小の場合は、10年たったので、今までは問題がなかったことも問題になってくることがあるので、西小ボランティアの手引きがあるとよい。

どんなに情報発信したとしても、市教委へいく。逆に、学校では言いにくいという方は、利害関係のない言いやすい第三者の方に連絡する。

以前、代替教員でベテランの方に来ていただいたときに、言葉や指導が荒いということもあるが、熱意があるので理解いただきたいと学校や学運協の場で話しされた。それであるていどは収まったことがあった。

会長：山本踏切まで一ヶ月ほど見守ったが、中には強く指導しないとわからない子もいる。命に関わるような場合の時、手引きだけではどうにもならない。とっさの時の事でもしもの事があつたら、どう責任を取るのか。どうして責められるのかなど禍根が残る。

CS 山本：3学期に地域支援会議があるが、出席状況が良くない。文書で発送しても難しい。

米山 P 会長：多くの保護者の方はありがたいと思っている。問題が起こったときに当事者の立場になると違ってくる。

会長：いろいろいわれると「自分の子どもは自分で守って欲しい」ということになってしまう。

日永 T：今日は、熟議で話し合うようなことを PTA と運営協議会と共有できたところがよい。クライシス・マネジメントのことも知らせる必要がある。

花田：それぞれの部会の方々はそれぞれの部会で対応を考えてもらいたい。

校長：資料 p 4 会議の件について

7月と12月については、西小まつりの時に同時開催したらどうか？

日永 T：必要によっては臨時開催できるとあるので、校長提案の3回でやってみて十分でないとしたら戻すのでどうか。

会長：全皆一致

(5) その他

① 学校予算について 資料 p 5 - 6

まだ確定していないところがある。教科書類が全面改定になるためまずこれが終わってから。

指導監：CS 事業については、今年度並みには予算要求している。

② 今後の行事について 資料 p 7

③ その他 なし

5 第3回議事録の発表と次回の予定について（教務主任） p 7 参照

次回は、2月28日（金）15：00－（多目）

6 終わりのことば（石原副会長）

以上

☆令和2年2月28日（金）に予定されていましたが「第4回学校運営協議会」は新型コロナウイルス感染症防止のために中止（紙面提案）になりました。